

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日2月16日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、2月23日（火曜日）からです。

『新選組と刀』

伊東 成郎／著、河出書房新社／刊、請求記号：210.58/I,89

内容：剣技を磨いた新選組にとって、刀剣はまさしく武士の魂そのものであった。佩刀、鞘、用達研師、標準刀、手槍、鐔など、気鋭の研究者が、新選組にまつわる剣の実際に迫る。

著者紹介：1957年東京生まれ。明治大学文学部史学地理学科卒。新選組、幕末維新史研究家。著書に「江戸・幕末を切絵図で歩く」「幕末維新秘史」など。

『47都道府県・和菓子 郷土菓子百科』

亀井 千歩子／著、丸善出版／刊、請求記号：383.8/Ka,34

内容：歴史的ゆかりのあるハレの和菓子から昔懐かしい郷土菓子、さらには地元になんだお菓子までを、エピソードとともに都道府県別に紹介します。かりんとうやカステラなどの唐菓子、南蛮菓子も掲載。

著者紹介：東京都生まれ。日本地域文化研究所代表。民俗研究家、旅行作家。日本民俗学会会員、日本旅のペンクラブ会員。「旅と食文化の会」主宰。著書に「小松菜の里」「縁起菓子・祝い菓子」など。

『事例でわかる知的財産権ってなあに?』

杉本 勝徳／著、日刊工業新聞社／刊、請求記号：507.2/Su,38

内容：特許などの知的財産を、地方でのビジネスの創出や拡大に結びつける機運が高まっている。商標や特許に精通する著者が、事例を交えて発明のアイデアやヒントを提供する。『和歌山新報』連載から250回分を厳選して単行本化。

『イタリア人が見た日本の「家と街」の不思議』

ファブリツィオ・グラッセリ／著、パブラボ／刊、請求記号：523 /G,77

内容：日本人はせっかくの家を築40年で建て替える!? 在日歴20年のイタリア人建築家が、友人との会話形式で、ニッポンの「家と街」で感じた多くの「なぜ?」を分析し、解決策まで提言する。

『呼出秀男の相撲ばなし』

山木 秀男／著、現代書館／刊、請求記号：788.1 /Y,28

内容：土俵上の妖精”と相撲ファンに親しまれた元呼出の秀男が、「呼出」「行司」「床山」といった大相撲の裏方の仕事をはじめ、力士や親方、部屋や取組の話などを語る。観戦がより楽しくなる相撲の深い味わい方がわかる。

著者紹介：1949年生まれ。静岡県出身。大相撲の元呼出。伊勢ヶ濱部屋、桐山部屋を経て、最後は朝日山部屋に所属。呼出のトップとして、結びの一番の呼び上げを担当していた。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp